

令和6年度 第2回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月12日（金） 9時00分から11時10分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 伊代田 尚志、古橋 廣一、村上 久美子（CSコーディネーター兼任）、
嶋野 直輝（CSコーディネーター兼任）、中村 勝信、小粥 裕理、
池谷 莊一、塚本 昌代、袴田 則司、西尾 純
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 伊佐見協働センター
- 6 学 校 高須 祥郎（校長）、米山 由紀子（教頭）、川合 弘志（教務主任）、
澤木 美加（CS担当教諭）、間渕 仁美（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間渕 仁美
- 9 議長の選出

第1回学校運営協議会での決定通り、中村委員が議長を務めることを確認した。

10 協議事項

- （1）1学期の様子と2学期に向けて ～学校評価アンケートをもとに～
- （2）児童の送迎について

11 会議記録

会議に先立ち、授業参観を行い、子供たちへのメッセージをカードに記入した。

（1）1学期の様子と2学期に向けて ～学校評価アンケートをもとに～

本熟議では、アンケートを学校の職員とは違った視点で分析していただきたいこと、そして、本日いただいた御意見をもとに、後日職員が2学期以降の教育活動について話し合い、よりよい活動を目指していくことを米山教頭が話した。その後、川合教務主任より、学校評価アンケートの結果について説明があった。熟議は3グループに分かれて行い、それぞれ意見を発表した。

【Aグループ：伊代田会長・中村委員・池谷委員・西尾委員・澤木教諭】

- ・挨拶は保護者・教職員の評価が低い、できていると感じる。
- ・コミュニティセンターなどで子供と接する際、後片付けなど、どこまで注意するべきなのか。
- ・読書については、成長すると本以外の興味が増えていく。読み聞かせボランティアなどやってくれてはいるが、他にも読書に興味を持てる方法はないか。
- ・子供たちは目標に向かって頑張っているが、子供が思う目標と、保護者が思う目標に違いがあるのではないか。大人の期待が大きいのではないか。
- ・学習内容の理解についても、子供と保護者にギャップがある。ほめて伸ばすほうが良いのではないか。
- ・夏休みの宿題が少ないので、保護者としてはもっと増やしてほしい。

【Bグループ：古橋副会長・嶋野委員・塚本委員・川合教務主任】

- ・人間関係の形成やコミュニケーション能力が大切だと思う。学習も大事だが、まずは楽しく学校に通えることが第一ではないか。
- ・相談体制の充実については、保護者が学校に求めすぎているのではないか。子供にも個性が

あり、学習などもすべての子が100%できるわけではない。家庭でもその子の頑張りを認め、最終的には家庭で判断することも必要だと思う。

【C グループ：村上委員・小粥委員・袴田委員・伊佐見協働センター（オブザーバー）・米山教頭】

・読書は、子供はできていると感じているが、保護者・教職員とのギャップがある。文字に親しむことは、学習だけでなくコミュニケーション能力の育成にも大事。地域やいろいろな世代の人ともコミュニケーションをとっていくことにつながる。

・子供はいろいろなことを頑張ってチャレンジしているが、一人ではできないこともある。周りを頼れる人間にしたいし、周りから愛される人間に育てていきたい。

（２）児童の送迎について

米山教頭、西尾委員（PTA会長）、伊佐見協働センターより、児童送迎時の協働センター駐車場の利用について、以下の説明があった。

- ・伊佐見協働センターの駐車場利用は、幼稚園のお迎えの時間も考慮して時間を決めているが、ルールを守らない人が多く、協働センターの利用者が駐車できないことがある。
- ・お迎えに来る人は2時頃から3時半頃までいるが、ピークの3時頃には100台くらいになることもある。最近は熱中症の心配もあり、雨天時だけ混雑しているわけではない。
- ・このままでは協働センターの駐車場を利用できなくなるかもしれない。

これに対して、委員からは以下の意見が出た。

- ・学校が敷地の一部を駐車スペースにするなどの対応をしなければ、根本的な解決にはならないのではないか。（古橋委員）
- ・シンフォニーのような、保護者と子供が集まる時に、PTAから利用の仕方や困っていることについて話をする時間はとれないか。（嶋野委員）
- ・シンフォニーだけでなく、授業参観など、事あるごとに学校が困っていることを伝えれば、少しずつでも理解が広がるのではないか。（塚本委員）
- ・下校時に路線バスを走らせることはできないか。（池谷委員）
→現在も下校時に路線バスがあるが、方面に限られる上、廃止問題もある。（学校からの回答）
- ・学校がバス会社と契約してバスを運行できないか。他の地域や高校ではスクールバスを走らせているようだが。（塚本委員）

12 報告事項

ボランティア活動計画について

村上コーディネーターと嶋野コーディネーターより1学期のボランティア活動の報告があった。

13 連絡事項

米山教頭より、150周年記念行事に向けての取り組みの報告と、次回会議は2024年12月11日（水）午前9時10分から会議室で開催する旨の報告があった。委員から以下の発言があった。

- ・このボランティアの仕組みは、一般的なのか、伊佐見小独自のものなのか。（古橋委員）
→浜松市では今年度、コミュニティ・スクールを導入している学校が100%になった。ボランティア募集や活用の仕方は学校によって形は違うが、それぞれで行っている。コミュニティ・スクールは、全国的に推進しているものだが、全国的にはまだ半分ほど。（学校からの回答）